

Working in the Woods

株式会社 三浦興産 会社案内

株式会社 三浦興産

北海道日高郡新ひだか町三石本桐 193-8

電話 0146-34-2288

<https://www.miurakousan.com/>



Instagram



公式ホームページ

会社概要

従業員 | 23 名

営業品目 | 造林、造材、土木、解体

産業廃棄物処理業

産業廃棄物収集運搬業

創業年月日 | 昭和 29 年 4 月

創立年月日 | 昭和 54 年 4 月

林業認定許可 | 道木連第 232 号

道木連バイオマス 86 号

日高 - 24 - 第 004 号



株式会社三浦興産

地域の未来を育む。 新ひだか町の森と共に生きる。



そのため、山に入る職人の技術力や経験も必要になります。当社には日高の山を知り尽くしているベテランのスタッフが多く在籍しているのも特徴です。

また、地域に根差した企業として、地元の小学校の草刈りのボランティアや、住む場所を提供するために民家を買上げたりと、思いやりの心を忘れないことをモットーにし、地域とのつながりも大切にしています。

長い間この地域の森を守り、育ててきた事業者として、未来へ森を継承していくため、次世代の育成にも力を入れています。木を植えたい人、チェーンソーで伐倒したい人、重機を扱いたい人、それぞれやりたいことを軸に仕事ができる環境を整えていますので、山と海、この豊かな日高の自然の中で働きたい方を心からお待ちしています。

新ひだか町は、日高山脈と太平洋に挟まれ、農業や漁業が盛んな地域ですが、実はこの土壌や海などの豊かな自然環境を支えているのが林業です。昭和29年に創業した当社は、町の8割以上を占める森林を守り、育てています。主に、日高の新冠町から浦河町までの国有林の造林、素材生産を行っており、民有林や社有林の整備も行っています。林業以外にも、産業廃棄物処理、解体、土木、再生骨材販売も手掛けています。林業でも機械化が進んで、当社でもさまざまな重機を保有しています。日高の山は斜面の勾配が急なところが多く、重機だけに頼れない部分も多くあります。



新ひだか町について



まちの概要

北海道の新ひだか町は、静内や三石などの旧町が合併して誕生した町です。人口およそ21,000人で、美しい自然と豊かな農林水産業が特徴の町です。特に競走馬の生産地として全国的に有名で、多くの牧場が広がっています。自然の美しさも際立ち、静内の桜並木は春に見事な花を咲かせるほか、日高山脈の壮大な風景も魅力です。静内温泉や三石海浜公園など、リラクゼーションとレクリエーションを楽しめるスポットも多彩です。

気候について

太平洋に面しており、海洋性気候に属していることから、道内でも比較的温暖な地方です。冬の降雪量は少なく、寒いときでも-5度(月平均)くらい、夏の暑いときでも21度(月平均)くらいで、年間平均気温は7.0度から8.0度となっています。



新ひだか町
滞在・移住ナビ

公式 HP



移住制度について

自治体にて空家居住補助金交付事業やまちなか居住補助金交付事業といった住まいに関する助成制度や、子ども医療費助成、新ひだか町奨学金制度といった子育て世帯への支援を行っています。また、町のことや暮らしなど、移住前に気になることを相談できる「新ひだか町移住相談ワンストップ窓口」もあります。新ひだか町で「働く」「暮らす」をサポートする体制がありますので、気になることはなんでも相談できますよ！

林業の1年

春 Spring

植栽
植え付けともよばれ、春や秋に行います。苗畑で大切に育てられた苗木を、人の手で一本一本、一定の間隔でまっすぐに植えていきます。

種苗
山に植えられる苗木は、カラマツで2年ほど、トドマツで5年ほど種から畑で育てます。種苗を専門にやっている会社で生産されることがほとんどです。

夏 Summer

下刈り
植えた苗木はまだ小さく、生長の早い雑草などによって日光が遮られ、生長が妨げられます。そのため、苗木のまわりの雑草などを刈払機で刈り取ります。これを年に1〜2回、5〜8年ほど行います。

枝打ち
無駄な枝を付け根付近から鋸(のこ)などで切り落とす作業です。節の無い良質な木材を生産する目的と、森林内に日光を採り込み生育環境を整える目的で行います。

つる切り
ヤマブドウなどのつる植物が木に絡みつく、生長を妨げたり、木の形が悪くなります。木を締め付けたり覆ったりして枯らすことも、そこに、木に絡みついたつる植物をナタなどで除去する作業を行います。

秋 Autumn

間伐
木が生長してくると、森林の中が混み合い、日光が当たりにくくなりお互いの生長が妨げられます。それを避けるため、一部の木をチェーンソーなどで伐採(間引き)し、生長に必要なスペースを確保します。

地ごしらえ
木を伐ったあとの山は、枝葉などの残材が散乱し、雑草も伸び放題！この残材をレーキやグラブなどの機械や人力で取り除き、刈払機で雑草を刈り取ります。次の植栽に備える作業で、春や秋に行います。

冬 Winter

天気によって作業内容が左右されることもある林業ですが、自分の関わった現場の木が育っていくのを見ることが出来るのも達成感のひとつ！

主伐
植えてから40〜50年以上経ち、大きく太く生長した木をようやく収穫する時がやってきます。チェーンソーのほか、ハーベスタなど高性能林業機械で伐採します。伐った後は、再び苗木を植えて次の世代の森林を育てていきます。

枝払い
木を伐採した後は、枝払いと玉切りを行います。

玉切り
直径や曲がり、節、腐れなどを見極めて、用途に応じて一定の長さに切断し丸太にする作業。どう切れば高く売れるか、建築材になるかパルプ材になるか、経験に基づいた判断が問われるところです。

※ハーベスタでは伐採・枝払い・玉切りを一台で行います。

2

1

Interview

スタッフインタビュー

林業部門で、高性能
林業機械・ハーベスタの
操作を担当するスタッフに、
仕事のこと、会社のこと、
日高エリアの
暮らしのことを直撃。

氏名 高木 杏(きょう)
出身 様似町



Q. 日高エリアの暮らしは？

今は浦河町に住んでいるのですが、もともと日高の様似町で生まれ育っているのですが、日高エリアは自分にとって居心地が良い地域です。隣近所など必要以上に気を使うところもなく、のびのびしていいところだと思います。日常生活でも特に不便を感じることはありません。食品や日用品など買い物をするとところもあるし、飲食店も結構あります。地元でとれた野菜、肉、魚など、おいしいものをもらう機会も多いです。ね。都会に比べると何でもすぐにお金がかかりますが、こっちにいますとお金を使うことも少ないから、趣味や好きなことにお金をかけられます(笑)。休みの日は愛車をいじったり、この辺りは景色のいいスポットもたくさんあるのでドライブに出かけたりして過ごしています。

Q. 仕事の面白さ、やりがいはい？

自分が今乗っているのは、ハーベスタと呼ばれる林業機械。立木の伐採、枝払い、丸太の長さを測って切っていく玉切り、その丸太の集積まで、すべ



て1台できてしまう高性能な機械です。30個近くあるボタンを駆使して操作を行うのですが、6年ほど乗っているのでも操作もだいぶん慣れ、楽しく仕事ができています。現場はすべて同じではないのでその都度勉強ですが、経験を積みれば積むほどできることが増えていくのも面白いです。

また、木々に囲まれた緑あふれる自然の中で仕事ができるのは何より気持ちがいいです。都会の狭いオフィスの中でたくさんの人に囲まれて仕事をするより、ストレスなく仕事ができます。そして、ハーベスタに乗っていると、山の中にも冬は暖かく、夏は涼しいです(笑)。これからも安全第一を忘れずに、ハーベスタで難しい作業もこなせるように仕事をしていきたいです。

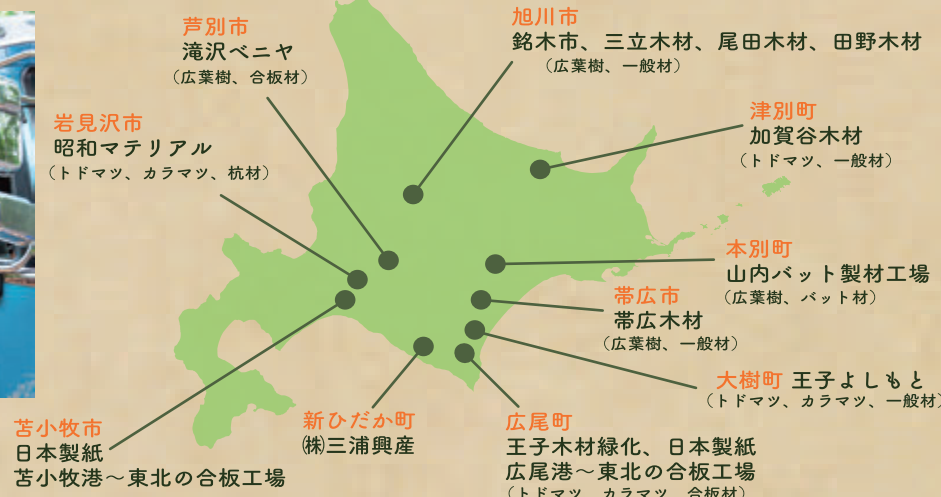


WEBメディアにて「くらし」のストーリーが読めます



<https://kurashigoto.hokkaido.jp>

運材 | 全道各地へ木材を運んでいます



Q. 三浦興産で働くきっかけは？

祖父が土木の仕事をしていたので子どもの頃からユンボに乗せてもらったりしていて、重機などの乗り物や車に興味を持つようになりました。高校を卒業後は車や乗り物に関係ある仕事に就きたいと考えていたから、ちょうど社長から声をかけてもらい入社しました。最初の1年は工場場で車や重機の整備の仕事をしながら、重機に関する免許をひと通り取得しました。費用はすべて会社が持ってくれたのでありがたかったです。その後、ある程度重機の操作ができるようになってから山に入って林業部門の仕事をしています。

Q. 職場の雰囲気は？

社長にも気軽に話しかけやすい風通しの良さや、自由で大らかな会社全体の雰囲気が入っています。現場の年齢層は60〜20代と幅広いのですが、みんな気さくで話しやすいので、年齢はあまり気にならないです。それぞれが自分の作業に黙々と取り組みながら、顔を合わせると冗談を

働きやすい環境づくりにも力を入れています！ ▲▲

手当

- 通勤手当 ¥10,000～(10km～距離に応じて)
- 技術手当 ¥1,000～3,000 円 / 日
(現場の作業内容に応じて)
- 技能手当 ¥10,000 (国家資格一つにつき)
- 家族手当 ¥5,000 (扶養家族一人当たり)
- 冬季燃料手当 ¥10,000×6 ヶ月
- 出張手当 (目的地に応じて)

福利厚生等

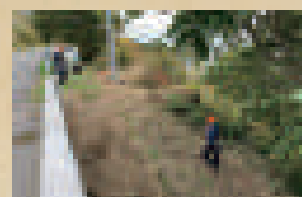
- 通年雇用 (従業員全員)
- 各種社会保険完備
- 有給休暇等取得制度
- 森林作業員就業条件整備事業
- 林退共・建退協・中退共退職金共済いずれかに加入
- 健康診断 (年 1 回、全従業員対象)
- 特殊健康診断 (年 2 回、チェーンソーを扱う人のみ)
- エッピペン取得 (使用期限内に一回)
- 安全大会 (定期的)
- 各種試験・技能講習・安全教育取得の費用負担 (勤続 3 年以内に退職した方は、年数により一部返還)

会社支給物

- 作業服、防寒服
 - チェーンソー (伐倒作業員のみ、数年に 1 回)
 - 伐倒用ヘルメット※
 - 防塵手袋※
 - チャップス※
- ※初回、伐倒作業員のみ。



林業以外にも多数事業を展開しています



土木部門

年間の請負工事は少数ですが、新ひだか町の発注工事を請け負わせて頂いております。



産業廃棄物部門

産業廃棄物の取り扱いや運搬の許可を取得しており、自社で産業廃棄物の処理場も構えています。

解体部門

民間の家屋などを主に解体を行っております。また、町の住宅不足解消のため、解体依頼があってもまだ直して住めそうであれば、リフォームして賃貸として再生したりもしています。



再生骨材部門

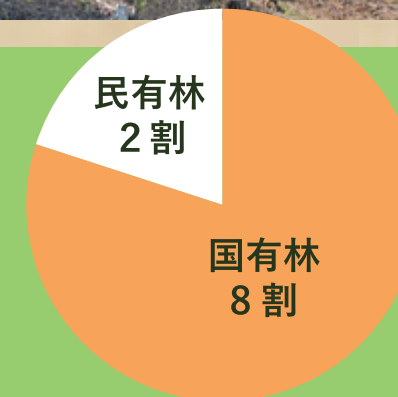
建物の解体で発生したコンクリート塊を加工し、再利用するための骨材を生産しています。



木を植える「造林」

伐採の終わった人工林には切株や枝条が残されています。近年では重機を活用し作業を行いますが、急傾斜地では人力での作業となってしまいます。そこでリモコン操作で、草を刈ったり伐根を砕ける機械を導入検討中です。

「植えて、育てて、伐って、活用する」のが林業のサイクル。森林は、木材を生産する役割をはじめ、雨水を蓄えたり、土砂崩れなどの災害を防いだりする機能も担っています。また、二酸化炭素を吸収し、レクリエーションの場や動植物の住处でもあるなど様々な役割を果たしています。



木を伐る「造材・素材生産」

作業用の林業機械や運搬用トラックの出入りが出来るよう、事前調査を行ってから林道を整備します。林道が整備されることにより、高性能林業機械を使った低コスト作業や山林の管理が容易になります。

伐倒はチェーンソーで行い、玉切・枝払はハーベスターで行っています。集材はフォワーダーを使用して行っています。国有林の素材生産請負事業は、生産した素材を山土場にて公売で販売するため購入者が容易に輸送できるように本線林道までトラックで輸送し、桟積・検知をします。



まちに根ざした「地域活動」

子どもたちにとって暮らしやすい町であり続けて欲しいという思いから、地元の保育所や小学校、図書館など地元施設の草刈りをボランティアで行っています。有数の馬産地である当町ならではの、依頼があれば、牧場の牧柵設置や牧草ロールの運搬を行ったりもしています。

